

佐賀県原子力防災訓練

いざというときに備えるための防災体験

九州電力株式会社玄海原子力発電所の重大事故を想定した県原子力防災訓練が実施され、松浦町の住民など約100人が参加しました。参加者は、バスや車で武雄市の白岩競技場に移動し、放射性物質による汚染状況を確認する避難退域時検査を受けたあと、嬉野市社会文化会館に避難しました。参加者は一日を通して、避難の一連の流れを確認したり、放射線の基礎知識について学んだりしました。



↑参加者は緊張感のある雰囲気の中、放射性物質による汚染検査を体験しました

田子ノ浦部屋の力士が九州場所前に市内で合宿 伊万里の地から福岡での活躍の土台作り

日本相撲協会に所属する田子ノ浦部屋が、11月の大相撲九州場所を前に、10月20日から3泊4日の日程で、市内にて合宿を行いました。この日は早朝から、国見台相撲場で朝稽古があり、力士たちは、すり足や四股を踏んで足腰を鍛えたり、土俵に上がってからは激しいぶつかり稽古をしたりするなどし、体からは湯気が立ち上がり、ピンと張りつめた緊張感の中に気合いと熱気が伝わってきました。



↑コーチの助言を受けながら気持ちのこもった稽古をする力士

Cygames presents 伊万里湾大花火 2023

伊万里湾の夜空を華やかに彩った大花火

伊万里の秋を代表するイベントとなった伊万里湾大花火が、今年も伊万里湾で開催されました。4年ぶりに有観客で開催されたこともあって、七ツ島会場（黒川町）では、物産展や花火の観覧を楽しもうと、多くの観客が訪れました。また、昨年8月に供用が開始され、今回初めて観覧会場となった七ツ島大橋でも、多くの観客が三尺玉など次々に打ち上げられる迫力ある花火に歓声を上げていました。



↑約10分間にわたり打ち上げられた三尺玉や5方向からの花火が観客を魅了していました

チャレンジ『Day』キャンプ

伊万里の大自然を仲間と一緒に体感

伊万里市青少年団体連絡協議会の主催で、都川内森林公園（大川内町）でチャレンジ『Day』キャンプが行われ、市内の小学校4～6年生11人が参加しました。児童たちは、テント設営や火おこし、自然を使ったビンゴゲームなど、日常生活では味わうことが少ないアウトドア体験を満喫し「初めて会った友だちと仲良くなって、協力してテント設営やゲームを楽しめた」と笑顔で話していました。



↑慣れない手つきながら、くいを打ち込み、協力してテントを設営する児童たち